

令和5年度 生徒心得(校則)の検討経過について

時期	内容
4月	4月「校則の検証及び見直しについて」(令和4年10月 高校教育課)の文書にそって検討することを確認する。
6月	職員会議で「浜名高校の校則の検証および見直しについて」議案提示し検討を始める。 情報収集(各校への問い合わせ・子どもの権利について弁護士会に相談・ホームページ検索)
7月 21日	1学期終業式で生徒に向けて、校則は学校を構成する生徒と教員が共に作りあげていくものということを示し「校則の検証と見直しについて」検討を始めることを伝えた。
8月 30日	職員会議で「浜名高校の校則を検討していく今後のスケジュールについて」提案する。
31日	生徒代表、教員で組織する校則検討委員会を立ち上げ、「第1回 校則についての検討会」を実施。生徒、教員に向け浜名高校の現状を把握するためのアンケートを実施すること、今後のスケジュールについて話し合った。
9月 6日	運営委員会に8月31日に検討した議案を提出し、検討した。 同日、「第2回 校則についての検討会」を実施し、校則検討委員会のメンバー、アンケートのとり方と内容、決議の仕方などを再検討した。(メンバーは、生徒会長、副会長、各学年の生徒代表(1年2名、3年2名 ※2年生は生徒会長、副会長が兼ねる)、生徒課長、副課長、生徒会担当教員とした。)
13日	運営委員会で校則についてのアンケートについて議案を提出し、了承を得る。
19日	「第1回評議会」(出席者:各クラスのHR委員長、HR副委員長、校則検討委員)を開催し、「生徒が主体となった学校生活を送るためのアンケート」の実施について、各クラスでの内容説明とアンケート実施の協力を依頼。9月28日に回答を締め切り、テキストマイニングで結果を校内サイトで報告した。 校則検討委員会で話し合いを行い、生徒心得(校則)について、原案を教員側で作成し、それをもとに検討していくことを決めた。「学校生活の手引き」「入学のしおり」「内規」の内容をすり合わせ、浜名高校の校則を考えることになった。
10月 16日	「学校評議員会」で校則の検証と見直しを行うことを説明し、理解を得た。
11月 2日	「第3回 校則についての検討会」を実施した。(16:30~19:00) 事前に生徒課で内容を検討しながら作成した生徒心得(校則)の原案を生徒メンバーに渡し、内容を検討してもらった後、話し合いを行った。様々な意見、疑問等を出しながら、納得解を得よう話し合った。
8日	生徒課会議で生徒心得(校則)(案)を提示し、内容について検討した。 管理職の先生にも同じものを渡し、内容を見てもらうとともに、話し合いの場を設けてもらうことを依頼した。
15日	「第4回 校則に関する検討会」を開催した。(出席者:校長、教頭、校則検討委員会メンバー) ※検討会の様子をホームページに掲載
16日	前日の検討会を受けて審議しまとめたものを校長に提出。生徒課回覧も実施。
22日	運営委員会に生徒心得(校則)(案)を提出し、審議。
12月 6日	運営委員会で審議を受けて改定した生徒心得(校則)(案)を提出し審議。
20日	運営委員会で審議を受けて改定した生徒心得(校則)(案)を提出し審議。
21日	今まで審議してきた生徒心得(校則)(案)を職員会議で提示、今後の審議を依頼。
1月 9日	12月の職員会議で提出した生徒心得(校則)(案)を職員会議で審議。
11日	「第2回 評議会」を開催し、各クラスに生徒心得(校則)(案)に関する新旧対応表を配布し、内容をクラスに提示し、確認してもらい、意見収集する。(1月17日締め切り)
22日	生徒の意見を集約し検討した生徒心得(校則)(案)を職員に提示。
29日	「第3回 評議会」を開催し、再検討した生徒心得(校則)(案)配布し、各クラスで提示し生徒総会を行うことを伝達。
2月 6日	臨時生徒総会を開催し、生徒心得(校則)(案)の検討の経過と内容について、校則検討委員の代表生徒が説明し、決議し、承認された。 (出席者:1、2年生。※3年生は家庭学習日のため出席せず)